

コラムでスタディ! No.21

平成29年度「1年間の活動を通して」

鏡野町在宅医療・介護連携事業推進協議会事務局

「コラムでスタディ!」では、毎回医療・介護・福祉に関する様々な内容を紹介しています。在宅医療・介護連携推進事業は、「医療・介護・福祉を必要とする高齢者が住み慣れた地域で自分らしい人生を最後まで続けることができる」ことを目的としています。今月号は、今年度行った活動を紹介します。

鏡野町議会議員との意見交換会の開催（7月31日）

在宅医療・介護連携事業推進協議会委員と町議会議員とが、在宅医療・介護に関する課題について共通認識を持ち、政策等につなげていくことを目的に意見交換会を開催しました。在宅で生活する高齢者とその家族に対する支援について活発な意見交換が行われ、今後も互いに意見しやすい関係づくりをしていきたいという声が上がりました。



SOSネットワークを用いた行方不明者搜索の模擬訓練の実施（11月10日）



鏡野町では高齢者等見守りSOSネットワーク事業を行っています。この度、認知症の高齢者が行方不明になった際に早期発見ができるよう、メール配信システムを導入したことからこれを利用して、搜索の模擬訓練を行いました。

メールを登録し、行方不明の情報をメールで受け取って搜索活動を開始するところから、発見メールを受信するまでの一連の流れを通して、反省点などを話し合い、今後の改善策を検討しました。

メール配信システム「SOSネットワークメール」はどなたでも登録可能です。ご協力いただける方は下記にお問い合わせの上、ぜひご登録をお願いします。

その他の活動

- 岡山県地域包括ケアシステム学会への参加・発表
- 入退院時の支援方法についての検討
- 医療・介護・福祉事業経営者会議（オーナーズ会議）の開催
- 認知症事例検討会
- 研修会の開催 等

協議会長より

団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年まであと7年となりました。政府は人口の超高齢化と減少の社会に向けて、医療・介護・福祉の対策を更に強化しています。

平成29年度の鏡野町在宅医療・介護連携事業推進協議会では、システム部会、普及啓発部会、研修部会、認知症部会とこれらの4部会を統合する全体会議で活発に活動してきました。具体的な活動としては全体会議を4回開催し、協議会の意見を集約しました。システム部会では医療・介護・福祉事業の経営者会議を2回、入退院時支援マニュアルの作成と災害時対応マニュアルの作成検討、鏡野町議会議員との意見交換会、SOSネットワークの企画と模擬訓練を実施しました。普及啓発部会では毎月の広報紙にコラムを掲載し活動の内容を紹介しました。研修部会では研修会2回と江澤和彦先生（岡山県老人保健施設協会会長）の講演会を開催しました。認知症部会では認知症初期集中支援チームの活動検討会を2回と事例検討会を開催しました。また、岡山県地域包括ケアシステム学会に参加し、発表しました。

平成30年度は更に活動を充実し、地域包括ケアシステムの充実と住みやすい町づくりに貢献したいと考えています。

鏡野町在宅医療・介護連携事業推進協議会長 武田 正彦

■お問い合わせ先

鏡野町保健福祉課 介護保険係 電話(0868)54-2986 FAX(0868)54-2891